

長崎・平和祈念像

高岡の技で修復

風雨で色あせる竹中銅器、3月までに

銅器メーカー竹中銅器(高岡市)が29日、長崎市の平和公園にある平和祈念像の修復を始める。長崎市から業務委託を受け、3月末までに完了する。長年の風雨で色あせた像の本来の色合いを高岡の技術で取り戻し、平和を希求する市民の願いを発信する。

平和祈念像は青銅製で高さ9・7メートル、重さ30ト。制作者は長崎県出身の彫刻家で文化勲章受章者の北村西望さんで、天を指した右手は原爆の脅威、水平に伸ばした左手は平和を表している。

原爆が投下された8月9日には毎年、像の前で平和祈念式典が執り行われ、全

世界に向けた平和宣言が発表されている。

竹中銅器は20年前も修復を受注し、今回は2回目となる。高岡の職人数人が長崎を訪れ、汚れを落とすとして再び薄い青銅色を着ける。立体感を表現できるよう塗料の着け方を工夫するとい



高岡の職人が修復する平和祈念像
—昨年8月9日、長崎市内

う。
担当者は「平和が続いてほしいとの願いが込められた像の修復に携わられて職人冥利に尽きる」と話した。